



議会だより



かすみがうら祭り



目次 CONTENTS

1. 16年度決算（決算審査特別委員会）	2～5	PAGE
2. 一般質問 6名の議員から	6～9	PAGE
3. 委員会の審議	9～10	PAGE
4. 所管事務調査	11	PAGE
5. 委員会活動	12	PAGE
6. 議案のあらまし	13	PAGE
7. トピックス	14	PAGE

旧霞ヶ浦町・かすみがうら市) 議会で認定

年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定、平成16年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定、平成16年度かすみがうらため、各常任委員会より2名を選出し、一般会計決算審査、収入役、教育長並びに各担当部課長の出席を求め、慎重にべきものと決し、最終日の本会議に報告いたしました。本会

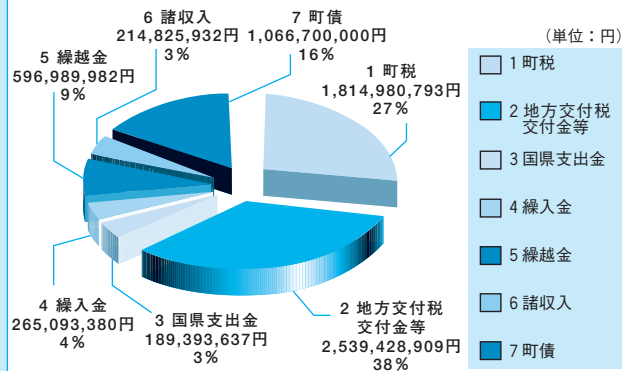


▲防犯パトロール車

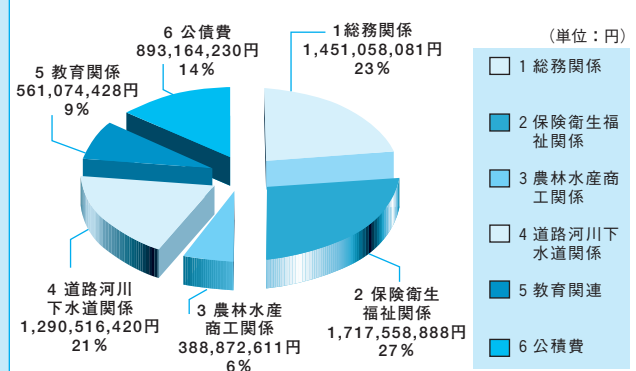
旧霞ヶ浦町

【歳入】66億8,741万2,633円 【歳出】63億 224万4,658円
(平成16年4月1日から平成17年3月27日までの決算)

平成16年度霞ヶ浦町一般会計決算(収入済額)



平成16年度霞ヶ浦町一般会計決算(支出済額)



一般会計決算審査特別委員会

《委員会での審査内容の主なもの》

- Q 少子化対策の支出済額の内容について伺う。**
A 少子化対策費の賃金等は子育て支援センターの臨時賃金、報酬費は行動計画策定委員会の謝礼、子育て支援の講演会、子育て支援センターでの消耗品です。
- Q 配食サービス事業は事務事業のすりあわせでどうなったか伺う。**
A 配食サービス事業は、事務事業決定表の中では200円を個人負担金として頂くということで決定されています。
- Q 認定農業者について伺う。**
A 認定農業者については、旧霞ヶ浦町には連絡協議会がありましたが、旧千代田町にはありませんでした。このため、旧霞ヶ浦町の協議会を市の協議会とし、旧千代田町の認定農業者の方々をこの協議会へ加入してもらうようにしています。
- Q あじさい館駐車場の整備状況について伺う。**
A 平成17年度にクロッカエ場の休憩所、トイレの手前に25台程度の駐車場を整備します。
- Q ナマズ流通対策事業補助金として70万円計上されている。一方では県では有害魚として補助金を計上しているようだが、市と県のナマズ対策についての相違について伺う。**
A 大切な資源であるエビやゴロなどの魚類が有害魚に食べられてしまうため、県を中心に駆除を図ってきました。一方ではいかにしてナマズを主体に生計を維持できるか、加工・販売経路に乗せるために漁協、水産事務所とも協議しながら対応を検討しているところです。
- Q 道路橋梁費の委託料で、道路の草刈を旧千代田町の3倍程度行なってきたが単価と年何回行なってきたか伺う。**
A 平米単価については、70円ほどです。旧霞ヶ浦町内の国道を挟んで2工区に分けています。業者委託については3件です。その他、シルバー人材センターに委託が5件ほどあります。

平成16年度一般会計決算(旧千代田町)



平成17年第2回市議会定例会の初日(9月8日), 平成16年度霞ヶ市一般会計歳入歳出決算の認定, 平成16年度霞ヶ市一般会計歳入歳出決算の認定についての4議案の審査を行う特別委員会を設置いたしました。特別委員会では9月15日に審査を行い4議案すべて、全会一致で原案のとおり、認定す議では、賛成多数で認定すべきものと決しました。

旧千代田町

【歳入】75億7,110万7,862円

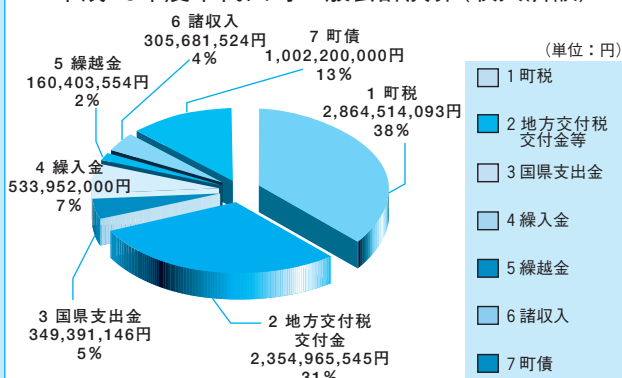
【歳出】80億2,948万2,181円

不足額は合併の事由により生じる債務であり、
一時借入金充用額4億5,837万4,319円
(平成16年4月1日から平成17年3月27日までの決算)

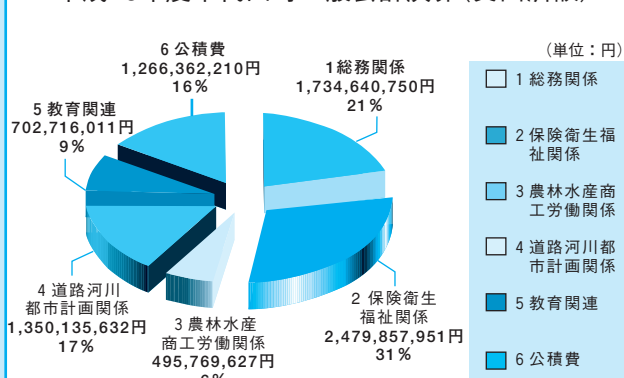


▲改修されたB&G海洋センター

平成16年度千代田町一般会計決算(収入済額)



平成16年度千代田町一般会計決算(支出済額)



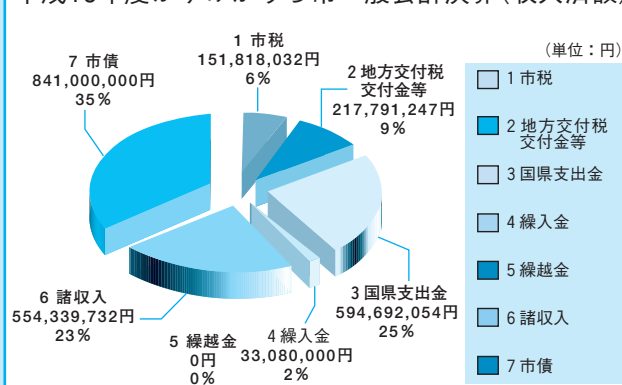
かすみがうら市

【歳入】23億9,272万1,065円

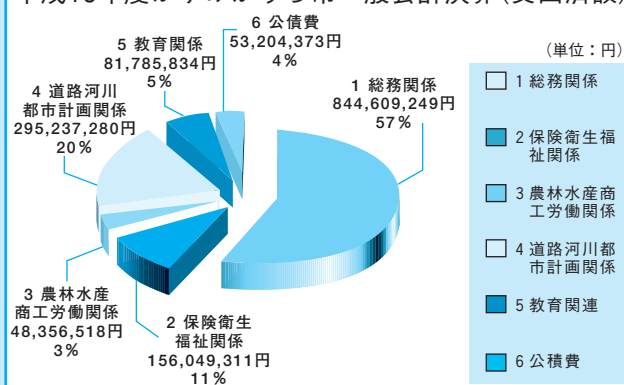
【歳出】14億7,924万2,565円

(平成17年3月28日から3月31日までの決算)

平成16年度かすみがうら市一般会計決算(収入済額)



平成16年度かすみがうら市一般会計決算(支出済額)



(旧千代田町・旧霞ヶ浦町・かすみがうら市) 議会で認定

平成16年度千代田町・霞ヶ浦町・かすみがうら市国民健康会計決算の認定についての15議案の審査を行うため、各常査特別委員会を設置いたしました。特別委員会では、9月案のとおり認定すべきものと決し、最終日の本会議に報告しました。



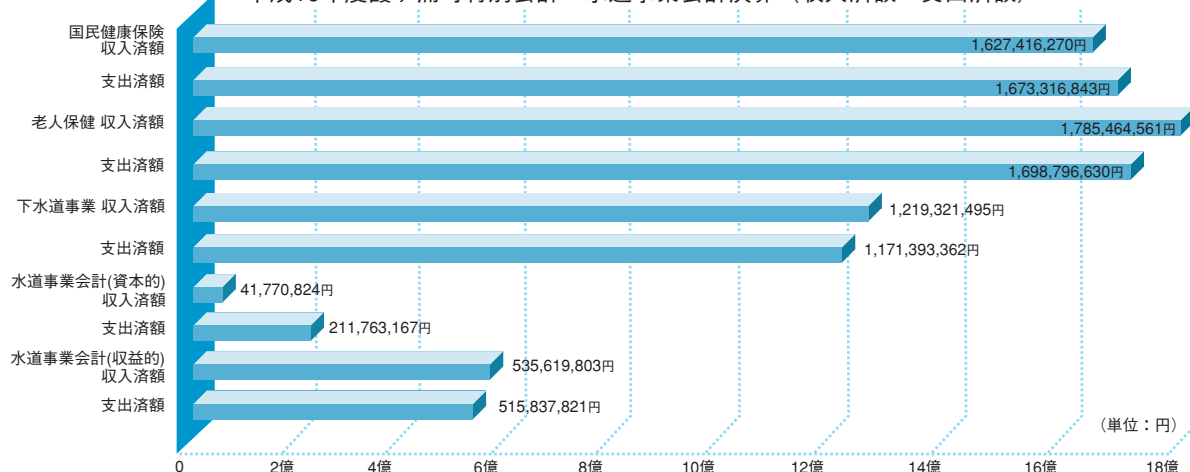
▲旧霞ヶ浦町水道管布設

旧霞ヶ浦町

特別会計【歳入】46億3,220万2,326円 水道事業会計【歳入】5億7,739万 627円
【歳出】45億4,350万6,835円 【歳出】7億2,760万 988円

(平成16年4月1日から平成17年3月27日までの決算)

平成16年度霞ヶ浦町特別会計・水道事業会計決算(収入済額・支出済額)



特別会計・水道事業会計決算審査特別委員会

《委員会での審査内容の主なもの》

Q 千代田町国民健康保険税の不納欠損の内訳について、大きな要因とその件数について伺う。

A 不納欠損の大きな要因は、居住不明者です。居住不明者該当者は61人です。

Q 不納欠損の根拠、内容及び支払能力が無い者の処理について伺う。

A 不納欠損の内容については、地方税法第15条の7の規定により執行停止をかけております。支払能力が無い者については、地方税法第15条の7第1項1号の規定に基づき不納欠損を行なっています。

Q 収納率向上の対策について伺う。

A 収納率向上については、夜間・休日の電話催告、職員による訪問及び、分納誓約をしたものを徴収嘱託員が、その都度訪問し、収納率向上に努めています。

Q 千代田地区農業集落排水の5地区の加入率について伺う。

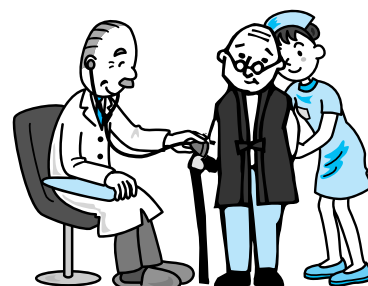
A 千代田東部地区については34.8%、土田地区は97%、志筑地区は76.5%、上稲吉地区は67%、新治地区は65.4%で全体では57.6%です。

Q 旧霞ヶ浦町全体と地区毎の下水道加入率について伺う。

A 田伏地区は、区域拡大を行なったため81.6%から60.5%に下がっております。宍倉地区は94.8%、加茂牛渡地区は23.6%となっています。農業集落排水の加入率は、柏崎地区で81.3%、大和田地区で67.5%、深谷地区で58.7%という状況となっています。

Q 給水原価が平成15年度と平成16年度ではどうなのか伺う。

A 平成15年度301.9円、平成16年度317円です。



平成16年度特別会計・水道事業会計決算



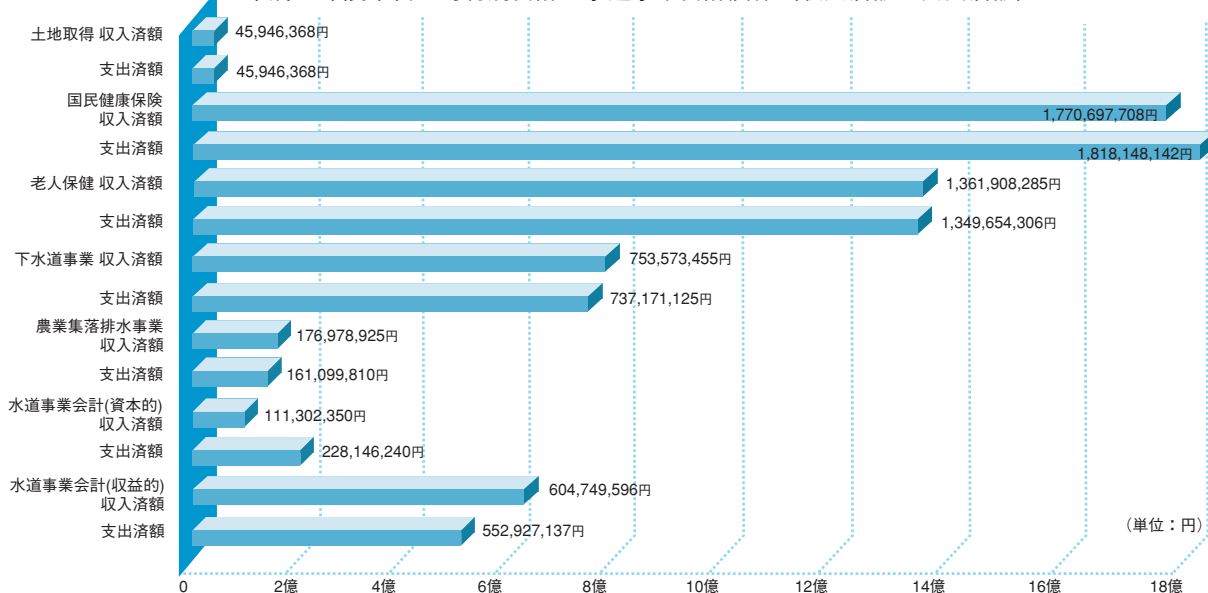
▲旧千代田町雨水管布設

平成17年第2回市議会定例会の初日（9月8日）において、保険、老人保健、下水道事業、農業集落排水事業、水道事業任委員会より2名を選出し、特別会計・水道事業会計決算審15日に、各担当部課長の出席を求め、慎重に審議を行い、原いたしました。本会議では、賛成多数で認定すべきものと決

旧千代田町

特別会計【歳入】41億 910万4,741円 水道事業会計【歳入】7億1,605万1,946円
【歳出】41億1,201万9,751円 【歳出】7億8,107万3,377円
(平成16年4月1日から平成17年3月27日までの決算)

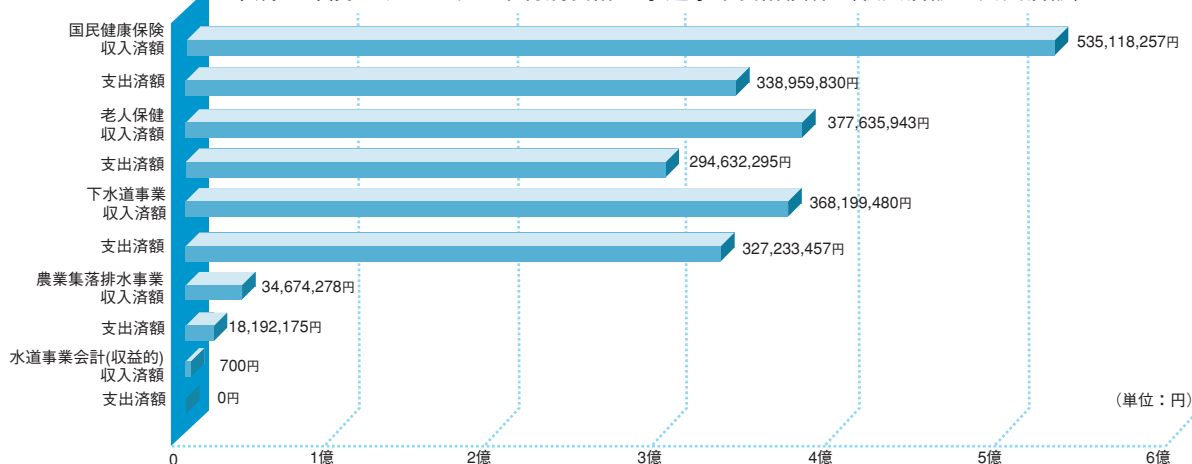
平成16年度千代田町特別会計・水道事業会計決算（収入済額・支出済額）



かすみがうら市

特別会計【歳入】13億1,562万7,958円 水道事業会計【歳入】700円
【歳出】9億7,901万7,757円 【歳出】0円
(平成17年3月28日から平成17年3月31日までの決算)

平成16年度かすみがうら市特別会計・水道事業会計決算（収入済額・支出済額）



國司 光文 議員



▲敬老会式典

Q 人件費の削減と職員の適正配置を

A 効率的な事務処理の方策を検討し、人件費を削減

Q 人件費の削減と職員の適正配置について、どのような考えがあるのか伺う。

A 総務部長 新市建設計画の財政計画では、一般職員の採用を合併後10年間の退職予定者に対し、約半数を補充採用する試算を行なっています。

Q 今後とも、住民ニーズ及びサービスの需要等の状況

A 市長 今年度の敬老式典については、運営委員会を組織し内容等について検討を頂きました。来年度の実施に当たっては、運営委員会の皆様をはじめ、多くの皆様のご意見を頂戴しながら進めて参りたいと考えています。

Q 預金先の金融機関の経営チェックを

A 経営状況等を、随時検査する

Q ペイオフ対策についてどのようになっているのか。預金先の金融機関の経営チェックはできているのか。

A 普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。

Q 預金先の金融機関の経営

A 市 今年度の敬老式典については、運営委員会を組織し内容等について検討を頂きました。来年度の実施に当たっては、運営委員会の皆様をはじめ、多くの皆様のご意見を頂戴しながら進めて参りたいと考えています。

A 収入役 ペイオフの考え方としては、もし金融機関が破綻した場合、預金が入金と相殺ができま

すので、資金運用の面も考え、借入金に相当する預金

については、定期あるいは

普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。

普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。

普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。

普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。

普通預金のままとし、借入金以上の預金部分については、決済性預金・無利子預金に切り替えています。



▲公金を預かる会計課（千代田庁舎）

質問事項

- 1.財政運営について
 - (1) ペイオフ対策について
- 2.環境美化と一斉清掃について
 - (1) 年2回行われているが万が一にもその清掃実施中の事故等の対応について
- 3.行政改革について
 - (1) 旧両町間の慣例について

質問事項

- 1.行政改革について
 - (1) 行政改革推進担当グループの設置について
 - (2) 経費削減について
 - (3) 両庁舎間の移動を効率的に(連絡車の定時運行)
- 2.合併特例債の活用について
 - (1) 平成17年度予定事業について
 - (2) 長期計画事業について
- 3.教育行政について
 - (1) 児童生徒の人格形成について
 - (2) 親子交流事業について(ウィークエンド・コミュニティ・スクール事業)
- 4.少子高齢化対策について
 - (1) 子供主体の子育て支援対策について
 - (2) 高齢者対応について
 - (3) 敬老会の学校区単位について

中根 光男 議員



▲下稲吉小学校職員室

Q 下稲吉小学校職員室の早期改修を

A 一定の工事期間が確保できる、冬・春休みに

Q 下稲吉小学校職員室の改修について伺う。今まで改修できなかったのはなぜなのか、いつから改修するのか伺う。

A 教育長 かすみがうら 市で一番、児童数の多い学校であり、増築に増築を重ねた経緯があります。従って、放送設備や各教室との通信線、警備関係の配線などが複雑に入り組んで

います。また、教職員数も1番多く、パソコンの電源やLANなどの配線の張り替えを考えますと週末、土曜、日曜などの短期間での対応が難しく、一定の工事期間が確保できる、冬休みあるいは春休み等の実施時期を検討中です。

Q アスベストの調査、今後の対策について伺う。

A 市長 公共施設アスベスト使用実態調査については、浮遊する恐れのある吹付けアスベストが公共建築物に使用されているかどうか、目視や設計図面による調査、さらには、必要に応じた専門業者による分析委託などを実施することとし、現在、その調査を進めています。

栗山 千勝 議員

Q 11月1日から霞ヶ浦大橋が無料化になる。それに伴い交通量が多くなると予想される。そこで安全対策をどのように指導していくか伺う。

A 市長 昭和62年の開通以来、利用交通量は計画を大幅に上回り、当初計画の30年間の料金徴収期限より約11年早まり、11月1日をもって無料化されることになっています。無料化されるとなれば

Q 霞ヶ浦大橋無料化に伴う安全対策は

A 地域の事情の把握に努める

交通量の増加が予想されます。現在の交通量は、県道路公社によると平成16年度は、1日平均四九八五台です。現道の安全対策についても、地域の事情の把握に努め、県や警察と適切な規制や交通安全施設の整備について協議して行きたいと考えています。

Q 水道配水管の旧千代田町との接続と新生道路に布設してある四〇〇ミリメートル

A 水道課長 旧千代田町と旧霞ヶ浦町の四〇〇ミリメートルの配水管の接続工事については、平成18年度実施を予定しています。また、現在その四〇〇ミリメートルの配水管の中に入っている水については、排泥等をかけながら水質基準にあった水を確保して参りたいと考えています。



▲国道354号線 北中入口

質問事項

- 行政全般
 - (1) 交通安全対策について
 - (2) 畜産について
 - (3) 水道事業について
 - (4) 行政改革について
 - (5) 不納欠損処分について
 - (6) 政治倫理条例制定について

質問事項

- 教育施設等の充実について
 - (1) 耐震調査の今後の具体的な取り組みについて
 - (2) 下稲吉小学校職員室の改修について
 - (3) アスベストの調査、今後の対策について
- 行政サービスについて
 - (1) 耳マークの設置について
- 活字文化振興法の推進について
 - (1) 活字文化振興法に対する認識と具体的な取り組みについて

佐藤 文雄 議員



▲設計・積算状況

Q 新市における入札改善の取り組みについて

A 予定価格の事前公表、入札参加者数の増加に努めた

Q 新市ではじめて実施した入札で、改善した点を伺う。

A 総務部長 入札に当たっては、資格審査会を開催し、経営規模等の結果通知書と総合評定時の通知書を基にして入札に参加する企業者の格付けを行いました。市内業者については、旧両町間での工事実績を踏まえて審査を行なっています。入札契約は、「適正化法」に基づき透明性の確保に努めたいと考えています。

Q 道路補修・改良について住民から寄せられた要望等のデジタル化を図れないか伺う。

A 土木部長 データ管理は、手作業となっています。同作

業のデジタル化は、住民サービスや業務の円滑化等の1つの課題に挙げられると考えます。しかし、近隣市町村でも事例がなく、実行が視野に入っていないのが実態です。従ってまずは、利活用効果やコスト面などを含めて方向性を探って参ります。旧霞ヶ浦地区で設計・積算システムの導入をしていますので、これを基本に利活用して行きたいと考えています。

質問事項

- 市町村合併について
 - 新たな市町村合併について市長の真意を問う
 - 改定された合併特例法について
 - 新市建設計画における財政計画と平成17年度予算の整合性について
- 入札制度について
 - 千代田大橋と談合問題について
 - 現段階での改善の取組みについて
- 向原土地区画整理事業について
 - 保留地販売状況について
 - 事業全体の見直しについて
 - 予定した保留地処分金が期待できない場合における問題について
- 水道事業について
 - 県との契約水量について
 - 水道料金・特に基本水量の見直しについて
- 生活道路の補修・改良について
 - 道路補修・改良の管理について
 - 道路改良計画について
- アスベスト問題について
 - 公共施設におけるアスベスト使用調査について

石井 幸雄 議員

Q 学校給食に地産地消の推進を。

A 環境経済部長 学校給食で地元農産物を使用することは消費拡大の側面以外にも、食育の推進という観点から重要です。地元で栽培された食材を使用した献立に親しむことにより、食について自ら考え、食材の良し悪しを判断する能力を養うことができるようになると思います。

Q 地産地消の推進を

A 安心・安全な地元農産物で消費拡大を

学校給食での地元農産物の使用状況については、約4千食に使用するために持続的かつ安定的な供給が要求され、特定地域の農産物を使用することが難しい状況もあるなど、限られた中での使用となっています。主食の米については、全て地元産米を使用しています。

また、今年度、県の農林関係の補助事業「いばらきを食

べよう学校給食推進事業」を活用し、地元農作物（栗、サツマイモ、レンコン等）を使用した献立を組み立て、食育の推進を図っています。

子供に対し地元農産物に対する関心を喚起することにより、大人においても、生産者の顔の見える安心・安全な地元農産物への親しみが増幅され、消費拡大につながるものと考えます。



▲楽しい給食

質問事項

- 教育行政について
 - 学校給食問題について
- 産業振興について
 - 地産地消について
- 環境問題について
 - 環境科学センター新設に伴う当市としての活動支援について
- 交通関係について
 - 信号機の設置について

総務委員会

【付託案件】

- ・かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・平成17年度かすみがうら市一般会計補正予算(第2号)中、総務委員会の所管に関する歳入歳出全般
- ・土浦石岡地方広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の減少について
- ・土浦石岡地方広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
- ・つくば市等公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減及びつくば市等公平委員会規約の変更について
- ・和解について

審議の結果につきましては、全議案とも全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

【審議内容】

Q：損害賠償の積算根拠について伺う。

A：確たる算出根拠がないのが実情ですが、単に契約金額によって算定するものではありません。平成16年度の契約金額により、顧問弁護士の見解を参考にしました。

Q：業務停止期間はどのくらいか伺う。

A：指名停止の基準に照らし合わせ、平成17年8月1日から平成17年8月31日までの1箇月としました。

和解の内容

委員会では、議案第62号の和解について審議の結果、可決すべきものと決しました。

この内容については、法定・法定外公共物等業務委託を結んでいた業者から、個人情報インターネットの検索サイト上に表示されたことにより、業務委託契約上の義務違反に当たるとし、債務不履行による損害賠償を市より委託業者に請求したものです。相手方は、本件の対象が個人情報流出という重大な法的利益に関するものであると、市からの損害賠償請求(賠償金1,638,000円)を全面的に認め、同意することに至ったもので、相手方から民法695条及び同法696条の規定による和解の申し出が提出された内容です。



▲成沢砂防ダム

山内庄兵衛 議員

Q 鯉養魚の今後の見通しは

A 県で耐性鯉の開発を進める

Q 鯉養魚の今後の見通しについて伺う。

A 環境経済部長 養殖再開の1つの方法として、

コイヘルペスウイルス病が存在する環境においても発病しない鯉、いわゆる耐性鯉の開発が進められています。

現在、県の内水面試験場を中心に、天然鯉から採卵孵化した鯉を一部の養殖業者

が試験的に育成をする取り組みを行なっており、その成果が期待されています。

1日も早い鯉の養殖の再開に向け、県の関係機関のご指導を仰ぎ対応をしていきます。

Q 雪入山砂防ダムの設置について伺う。

A 市長 雪入の砂防ダムについては、県が事業

主体となり進めており、本市における土石流危険渓流箇所として、成沢・桜沢・峯川の3箇所が指定され、平成15年度で事業は終了しています。本件については、平成13年12月の議会でご質問を受け、県に要望をした経過があります。引き続き、要望をしていきたいと思

質問事項

- 1.行政界について (1)市町村境界について
- 2.農水産行政について
 - (1)鯉養魚の見通しについて
 - (2)雑魚(アメリカナマズ)対策
 - (3)減反対策
- 3.土木行政について
 - (1)雪入山砂防ダムについて
 - (2)県が進めている緊急対策道
 - (3)栗田橋について
- 4.福祉行政について
 - (1)平成10年3月26日臨時議会で議決した角来地区の土地について

建設委員会

【付託案件】

- ・平成17年度かすみがうら市一般会計補正予算（第2号）中、建設委員会の所管に関する歳入歳出全般
- ・平成17年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の認定について

総体的な意見として市政運営は、市民の負担のもとに成り立っていますので、公正な予算執行に努めて頂きたいと要望しました。

【審議内容】

Q：下水道の公共枅の耐用年数は何年か伺う。

A：コンクリート製と塩化ビニール製のものがありますが、企業会計で言う耐用年数はあると思います。通常は大きな車両が乗るなどの外圧がかからなければ半永久的なものです。

Q：市道③424号線、市道④4366号線は、いつ頃から認定の計画をしたのか。

A：市道③424号線については、平成13年度に用地測量を終えています。市道④4366号線については、平成16年度に用地測量を終えています。

Q：2路線とも都市計画上では無指定と聞いているが、もし無指定であれば将来を見据え、新設道路に水道管の埋設を考えているのか伺う。

A：関係課と協議して参りたいと思います。



▲公共汚水枅設置状況



▲福祉センター建設予定地

文教厚生委員会

【付託案件】

- ・かすみがうら市地域福祉センター建設審議会条例の制定について
- ・かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について
- ・平成17年度かすみがうら市一般会計補正予算（第2号）中、文教厚生委員会の所管に関する歳入歳出全般
- ・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願
- ・「少人数学級」の導入によりきめ細かなゆきとどいた教育の実現を求める請願

旧霞ヶ浦町に同様な施設としてあじさい館があり、その内容が重複しないよう地域福祉センター建設審議会で見直しを含め検討するよう要望しました。

【審議内容】

Q：福祉センター用地の土地だけを先行取得したことは、きわめて不透明な土地の購入だと思う。平成17年度供用開始が遅れた理由を伺う。

A：あくまで2大事業を優先させて、その中で福祉センターに見合う補助事業を導入しながら事業推進を図ったところでしたが、福祉センターの規模が3億円からという大きな事業ですので、これに見合う適切な補助事業の導入には至らなかったということです。

Q：建設の設計は進んでいるのか伺う。

A：計画の内容は、平成14年度に基本計画、プランニングの図面等を作成した経過があります。

Q：医療福祉費の制度の見直しの中で、所得制限については県とまったく同じか伺う。

A：そのとおりです。

文教厚生委員会

7月29日調査

調査項目 学校施設の現状と今後の整備計画について

学校施設の現状と今後の整備計画については、市内7校の主な修繕箇所等を調査しました。校舎の中には、築25年以上経過し、屋根・外壁・内装ともに老朽化しており、修繕が必要な箇所が多数見受けられました。今回、特に緊急を要すると思われるのは、下稲吉小学校の職員室の床です。床張りを貼りかえないと、安全性の面からも懸念があり、早急に改修することを教育委員会に要望しました。



▲下稲吉小学校

産業経済委員会

6月29日・7月5日・8月26日・9月20日調査

調査項目 鶏卵施設の臭気対策について

石岡市にあるつくばファームの悪臭については、以前より近隣住民から苦情が出ているため、委員より意見を聴取し、現地調査を行なった結果、県へすぐにでも調査に行くべきだと言う意見でありました。そこで7月5日に、茨城県農林水産部畜産課に調査に行き、当市の現状と県の対応について、関係する部署との調整をお願いして参りました。



▲つくばファーム

調査項目 石岡市において発生した鳥インフルエンザウイルスの経過報告について

埼玉県の農場において、鳥インフルエンザウイルスH5亜型の抗体陽性が確認され、この農場へつくばファーム、イセファーム美野里農場、イセファーム涸沼農場から鶏が持ち込まれたため、立入検査が行われました。その結果、この3農場で抗体が確認されました。これに伴い、県は関連3農場を中心とした半径5km圏内について、移動制限区域として指定しました。当市では助役を本部長とする警戒本部会議を設置し、県の指示を受け対応しています。また、市民に対して、愛玩用のシャモ、チャボ、烏コッケイなども感染をすることから、移動の自粛をするようにと言うチラシを配布したとの報告でした。当市内では、5農場で抗体検査を実施しましたが、いずれもウイルスは検出されませんでした。つくばファームの12鶏舎のうち1鶏舎でウイルスが発見され、1鶏舎の約10万羽が殺処分されています。

建設委員会

8月4日・8月26日調査

調査項目 市道④2644号線改良について 市道⑥6号線新治橋改良について

「市道④2644号線改良について」、深谷・大和田バイパス建設計画については、現在までに、地権者、区長さんへの事業概要の説明等を実施し、地元の方の反対もなく、本年度より工事を着手する予定です。工期は本年度より5年間で平成21年を目途期間とし、合併市町村幹線整備緊急支援事業に位置づけています。

「市道⑥6号線新治橋改修工事について」は、法線の見直しを踏まえた中で、3つの案に絞り込み、いずれの案が良いか、執行部とともに調査を進めました。走行性・安全性は元より、地権者や区長さんをはじめとした関係者への説明会の開催も含め、無理・無駄のない事業を進めていくよう意見が出され、結果として、法線は変えずに、現道の位置に橋を架け替える方向で、改修工事を進めることが、一番良いであろうとの結論に達しました。



▲新治橋

神立駅周辺地区整備調査特別委員会

8月9日開催

調査項目 神立駅周辺の整備を促進するための調査

平成12年から土地活力再生拠点整備事業として、土浦市・旧霞ヶ浦町・旧千代田町において、事業化し整備案の策定をしてきた経緯がありました。また、3市町住民で組織された神立駅周辺整備推進協議会が設立され関係機関と連携し推進を図ってこられました。今後、土浦市及びかすみぐら市神立駅周辺地区整備調査特別委員会並びに民間で組織する神立駅周辺整備推進協議会が協力し、地域住民の利便性の向上や商業活動の振興を図るために、当委員会が協議・調整の窓口となって推進していくことを確認しました。神立駅周辺は、駅前広場及び駅舎の整備は元より、慢性的な交通渋滞にあるとの結論に達し、渋滞緩和を図るうえで道路網の整備促進を第一目標に掲げ進めていきたいと思っています。

産業経済委員会活動 7月6日～8日

研修テーマ：農業(果樹)観光・担い手農業について

山梨県南アルプス市(平成15年4月1日、八田村・白根町・芦安村・若草町・櫛形町・甲西町と合併)

《研修内容：農業(果樹)観光について》

さくらんぼは、粒が小さくて収穫が大変であり、高齢化が進む中、脚立による作業が大変であるということで、旧白根町の町長が、昭和62年頃収穫の軽減と観光による収入増を見込んでさくらんぼ狩りを始めました。この地域は、中央自動車道路が通っているため、東京方面から非常に近いと言うことを利点として、「東京から90分でさくらんぼ狩りができます」と言うキャッチフレーズが受けて、観光客が多くなりました。また、全ての農園に屋根がかかっているため雨が降ってもさくらんぼ狩りが出来ることもひとつの要因でありました。近年はインターネットの普及、交通網の整備、入場料の問題で観光客が減少しているようです。本市の観光農業も背景的には、同様なものがあるため、今後の施策検討が必要であると痛感いたしました。



▲南アルプス市役所前



▲掛川市役所大東庁舎

静岡県掛川市(平成17年4月1日、掛川市・大東町・大須賀町と合併)

《研修内容：担い手農業について》

旧大東町の旧大浜地区は、最も農業の近代化が図られた地域であります。担い手不足、米価の低迷等、農業を取り巻く環境が極めて悪くなったことから、平成8年協業集団(水稻団地)の組織編成を検討する千浜水稻団地研究会を立ち上げました。これをJ A・農林事務所(県)・行政が後押し、平成10年3月2日農事組合法人大東農産が設立されました。平成16年度水稻作付け面積は90.27ha、転作作物として麦と牧草を作付し、牧草の収穫は、畜産農家に依頼しています。平成16年産の米販売高は約1億4千万円であり、そのうち約67%は地権者に対し飯用米として販売しています。残りはJ Aへ出荷しています。

建設委員会活動 7月4日～6日

研修テーマ：駅舎並び周辺開発整備について

宮城県名取市議会

《研修内容：駅舎並び駅周辺整備事業について》

平成15年7月5日、新しい名取駅舎と東西自由通路がオープンしました。これは、昭和53年に建てられた旧名取駅舎を約20年を経た現在、ライフスタイルや社会情勢の変化、自由通路利用者の増加、バリアフリー対策、東西駅前広場の整備などの必要性から、自由通路と併せ全面的に改修したものです。同年9月1日には、施設内に併設されたウイングプラザ(名取駅コミュニティプラザ)が開館しました。「駅」と言う交通の拠点、人、物、情報が集まる、ふれあいの拠点に生まれ変わりました。

本市でも、神立駅周辺整備の問題があり、今回の研修内容を今後の計画に活かして行きたいと思っています。



▲平成15年にオープンした新名取駅



▲東松山市役所前

埼玉県東松山市議会

《研修内容：駅前広場整備計画》

東松山市ではオープンハウスや地元説明会の実施により、幅広く市民のご意見・ご要望を伺ってきたそうです。その中で、「若い方の意見を積極的に聞いてみてはどうか」という意見から、3つのプランの中で、アンケートを実施。その結果を基に内容を十分検討して詳細な計画づくりを進めてきました。一般市民からも「東口まちづくり研究会」という団体が発足して、平成2年から3年間、地区ごとの活動を行なってきました。多い時には100人以上の市民が参加して活動・研修が行われました。現在、まちづくり研究会は、東口地区、西口地区で約35人が集まり、市から補助を受けて、年に4～5回の活動・研修を行なっています。

平成17年第2回定例会の議案のあらまし

9月8日から9月22日まで15日間

承認第22号

専決処分事項の承認を求めることについて

平成17年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第1号) **承認**

承認第23号

専決処分事項の承認を求めることについて

平成17年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) **承認**

承認第24号

専決処分事項の承認を求めることについて

平成17年度かすみがうら市一般会計補正予算(第1号) **承認**

議案第32号

新治地方広域事務組合を組織する地方公共団体の変更及び同組合の規約の変更に **可決**

議案第33号

新治地方広域事務組合から八郷町が脱退することに伴う財産処分について **可決**

議案第34号

平成16年度千代田町一般会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第35号

平成16年度千代田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第36号

平成16年度千代田町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第37号

平成16年度千代田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第38号

平成16年度千代田町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第39号

平成16年度千代田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第40号

平成16年度千代田町水道事業会計決算の認定について **認定**

議案第41号

平成16年度霞ヶ浦町一般会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第42号

平成16年度霞ヶ浦町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第43号

平成16年度霞ヶ浦町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第44号

平成16年度霞ヶ浦町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第45号

平成16年度霞ヶ浦町水道事業会計決算の認定について **認定**

議案第46号

平成16年度かすみがうら市一般会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第47号

平成16年度かすみがうら市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第48号

平成16年度かすみがうら市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第49号

平成16年度かすみがうら市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第50号

平成16年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について **認定**

議案第51号

平成16年度かすみがうら市水道事業会計決算の認定について **認定**

議案第52号

かすみがうら市地域福祉センター建設審議会条例の制定について **可決**

議案第53号

かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について **可決**

議案第54号

かすみがうら市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について **可決**

議案第55号

平成17年度かすみがうら市一般会計補正予算(第2号) **可決**

議案第56号

平成17年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第2号) **可決**

議案第57号

土浦石岡地方広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の減少について **可決**

議案第58号

土浦石岡地方広域市町村圏協議会を設ける普通地方公共団体の数の増加及び規約の変更について **可決**

議案第59号

つくば市等公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減及びつくば市等公平委員会規約の変更について **可決**

議案第60号

市道路線の認定について **可決**

議案第61号

市道路線の認定について **可決**

議案第62号

和解について **可決**

請願第2号

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願 **採択**

請願第3号

「少人数学級」の導入によりきめ細かなゆきとどいた教育の実現を求める請願 **採択**

意見書第2号

義務教育費国庫負担金制度の堅持を求める意見書について **可決**

意見書第3号

「少人数学級」の導入によりきめ細かなゆきとどいた教育の実現を求める意見書について **可決**

議長発議

委員の派遣について **決定**

議長発議

閉会中の継続調査について **決定**



霞ヶ浦大橋有料道路無料開放式典

昭和62年の開通以来、利用交通量は計画を大幅に上回り、当初計画の30年間の料金徴収期限より約11年早まり、11月1日をもって無料化されました。それに先立ち、10月28日に多くの招待者のもと霞ヶ浦大橋有料道路無料開放式典が行われました。

第3回定例会市議会の
お知らせ

第3回定例会市議会は、12月8日（木）から開会される予定になっています。会期日程については、お知らせ版に掲載させていただきます。なお、本会議はどなたでも傍聴することができます。どうぞお気軽にお越しください。

決算の認定について

決算とは、歳入歳出予算に基づく収入と支出の結果を集計した計算書のことを言います。そして、予算を執行した結果がどのような成果をあげたかを示す成果報告書でもあります。議会が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに住民に代わって行政効果を評価するきわめて重要な意味があります。税金の使い方を決める予算の審議と、その使われた結果を予算に照らして検討し、今後の市の財政運営の改善に役立てる決算審査は、議会の審議の中でも重要な意義をもっています。

豆辞典



詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0299 (59) 2111 内線 1302

E-mailアドレス gikai@city.kasumigaura.ibaraki.jp

編集後記

本年最後の定例会を12月8日に開会いたします。毎回の定例会に多くの市民の皆さんが傍聴に来てくださり議員の方々も、大変張り合いのある質問、活動を展開しております。また、定例会ごとに、この広報誌『議会だより』を発行して議会の動き、一般質問、委員会活動等の要旨を皆さまにお知らせしております。この紙面をつくるには6名の編集委員が、毎回、議論を重ねて編集しています。そこで、皆さんから何か、ご意見、ご提言がございましたら、お聞かせ願えれば幸いに存じます。

この議会終了後には、2年目の予算編成が始まります。これからの『まち』づくり、議会のあり方等市民の皆さんの声を少しでも多く反映させ、2年目の議会活動に活かしてまいりたいと思います。

（編集委員 塚田安治）